



# 2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月10日

石油資源開発株式会社  
(証券コード：1662)

# 目次

---

- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況**
- II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取組み**
- III. 2024年3月期 第2四半期決算の概要**
- IV. 2024年3月期 業績予想の概要**

※本資料は2023年11月13日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

---

## I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況

II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取組み

III. 2024年3月期 第2四半期決算の概要

IV. 2024年3月期 業績予想の概要

# 業績ハイライト

## 24年3月期 第2四半期決算（前年同期比）

単位：億円	23/3月期 2Q (a)	24/3月期 2Q (a)	比較増減
営業利益	193	<b>285</b>	+91
経常利益	430	<b>391</b>	△39
親会社株主に帰属する四半期純利益	314	<b>277</b>	△36

- **営業利益** : アメリカ・タイトオイル開発の販売量増加や、国内天然ガス販売価格の上昇などにより増益
- **経常利益** : 持分法投資利益や為替差益の減少

## 24年3月期 業績予想修正（8/9公表予想比）

単位：億円	8/9公表予想 (f)	11/10公表予想 (f)	比較増減
営業利益	389	<b>488</b>	+99
経常利益	448	<b>570</b>	+122
親会社株主に帰属する当期純利益	340	<b>450</b>	+110

- **営業利益** : 国産原油、国内天然ガス、LNGなどの販売価格の上昇による収支上振れを見込む
- **経常利益** : 為替差益などの増加を見込む

## 株主還元

- 1株当たりの配当予想を年間250円に修正（中間125円+期末予想125円） ※ 連結配当性向 30%に基づく修正
- 3百万株または200億円を上限とする自己株式取得を決定

# 24年3月期上期の主な事業進捗

## E&P分野

### 【国内E&P】

- 新潟県・片貝ガス田周辺追加開発：1坑目掘削終了(5月) /2坑目掘削開始 (8月)

### 【海外E&P】

- ノルウェー領海上鉦区で探鉦・開発事業を推進する英ロングボート・エナジー社子会社 (LBJ) へ資本参加 (5月)
- アメリカ・タイトオイル開発の追加坑井権益取得 (5月)
- 英領北海・シーガルプロジェクトにおいて原油・天然ガスの生産を開始 (11月)

## I/U分野

### 【国内再生可能エネルギー開発】

- 太陽光発電所の開発および管理・運営を担うPJ アセットマネジメント株式会社を設立 (6月)
- 新潟県・見附太陽光発電所運転開始 (8月)
- 蓄電池関連企業である株式会社パワーエックスへ出資 (8月)

### 【LNG輸送・供給】

- ベトナム北部工業団地向けのLNGを活用したエネルギーサービス事業実現可能性調査の実施 (8月)

## CN分野

- マレーシアCCS共同スタディと連携した日本起点のCCSバリューチェーン構築共同検討実施にJFEスチールと合意 (6月)
- 苫小牧における産業間連携を活用したカーボンリサイクルシナリオを提示 (7月)
- インドネシア・スコワティ油田におけるCO2圧入試験の実施に向けた共同スタディ契約を締結 (7月)
- JOGMEC令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募において、苫小牧エリアおよび東新潟エリアにおける調査を受託 (7月、8月)
- SKK Migasとインドネシアにおける ハブ&クラスター型CCS/CCUS実現に向けた協力に係る覚書を締結 (9月)
- 米BSO社への資本参加により、当社初の海外制度先進国における具体的CCS事業化検討に着手 (10月)

## 24年3月期 経営目標と資金配分に係る進捗

## 「JAPEX経営計画2022-2030」 定量目標と資金配分方針

- 定量目標として、**2030年度達成を目指す長期目標**と、**2026年度までの中間目標**を含め設定
- 2030年度までのキャッシュイン累計5,000億円を、成長投資へ**4,500億円**、**株主還元へ500億円**を配分

## 定量目標

項目	中長期目標		24/3月期 2Q実績	通期見通し
事業利益*1	2026年度 2030年度	300億円 500億円	297億円	493億円
ROE	2026年度 2030年度	5% 8%	N/A	9.9%*2
利益構成割合 (E&P : E&P以外)	2026年度 2030年度	6 : 4 5 : 5	7 : 3	7 : 3

## 資金配分

項目	想定配分*3		24/3月期 2Q実績	通期見通し
成長投資	2026年度 2030年度	2,750億円 4,500億円	357億円	874億円+α (累計1,315億円+α)
株主還元	2026年度 2030年度	250億円 500億円	119億円*4	287億円*5 (累計425億円)

\*1 営業利益および持分法投資利益等（投資事業有限責任組合契約や匿名組合契約にもとづき分配される利益を含む）、\*2 期首・期末平均自己資本 4,541億円の想定に基づく数値

\*3 2022年度から2026年度までの5年間累計、および2030年度までの9年間累計、\*4 23年3月期 期末配当、\*5 23年3月期 期末配当+24年3月期 中間配当+自社株買い

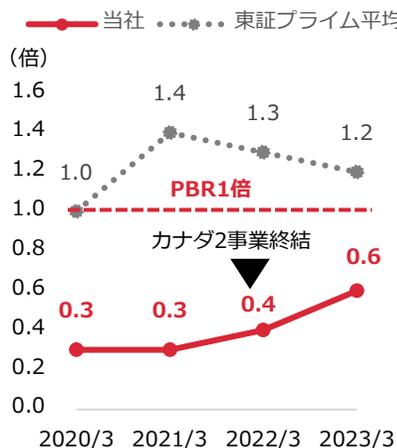
- 
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
  - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取組み**
  - III. 2024年3月期 第2四半期決算の概要
  - IV. 2024年3月期 業績予想の概要

# 持続的な成長と中長期的な企業価値向上 - 現状分析

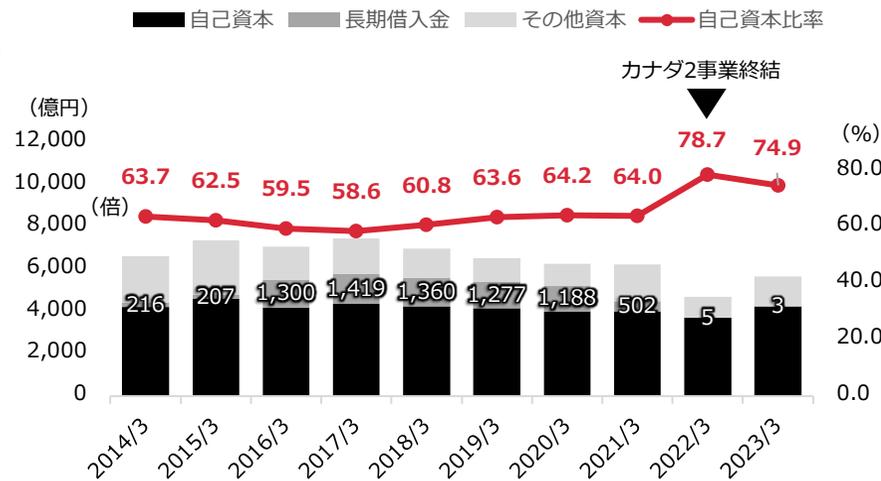
## 市場評価（PBR等）について

- PBRは改善傾向にあるが、1倍には未達
- 2023年3月期のROEは16.9%、2024年3月期見込みも9.9%と東証プライム平均値を上回るものの、低PBRに留まる要因として、平均より低いPERも課題
- 脱炭素社会に向けた石油・天然ガス関連事業の持続可能性や、油・ガス価格の高いボラティリティ等の業界の共通課題の存在に加え、当社の企業価値向上に向けた取組みに対する理解・信認を得られていないことも低PBRの一因と認識
- 株主資本コストは8%程度と認識
- 自己資本比率はカナダ2事業撤退後は高い水準

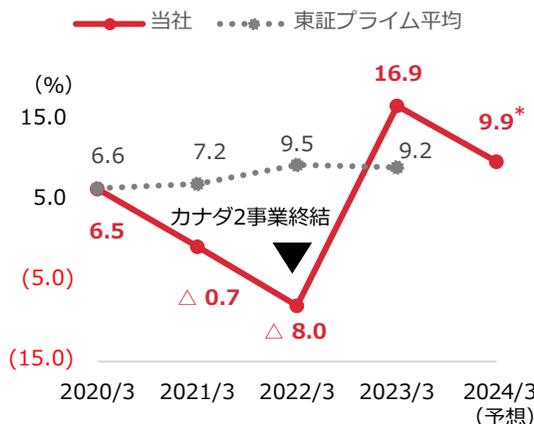
**PBRの推移**



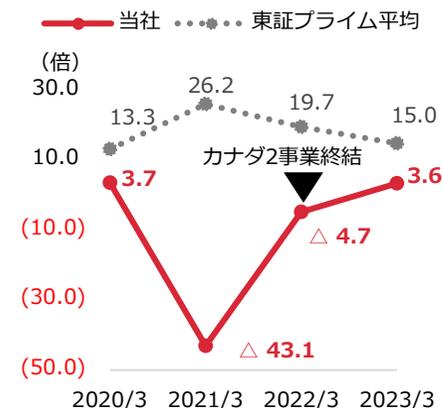
**自己資本比率の推移**



**ROEの推移**



**PERの推移**



\* 期首・期末平均自己資本 4,541億円の想定に基づく数値

# 持続的な成長と中長期的な企業価値向上 - 今後の方針

## 資本効率にこだわった投資

- 経営計画に沿った成長投資を継続し、将来の収益の源泉となる事業資産ポートフォリオを拡充
- 最適な資本構成については、事業ポートフォリオの構築と並行して検討（一時的に上昇している自己資本比率は、成長投資の着実な実行に伴う有利子負債活用により低下へ）

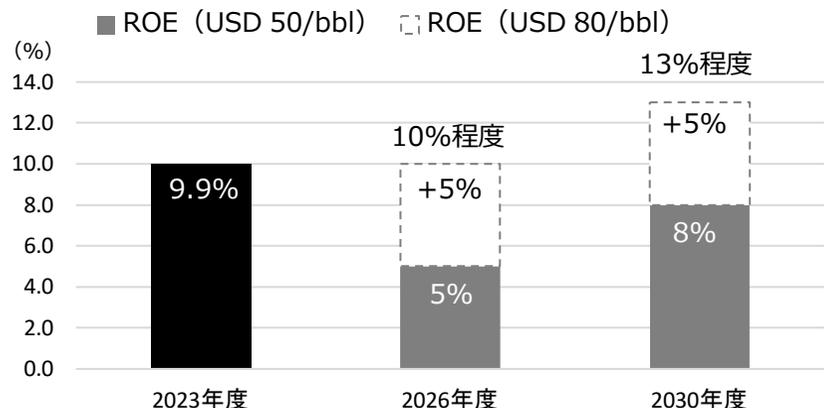
## 株主還元の充実

- 足元の油・ガス価高騰に伴う一過性の上振れ資金により、300万株（発行済株式の5.5%） / 200億円を上限とする自己株式の取得を実施
- 政策保有株については、保有の妥当性について継続的に検証

## 継続的なステークホルダーとの対話

- 経営計画の進捗状況については、今後も定期的に取り締役会で分析・協議し、市場と対話しながら、ROE・PERの向上を目指す
- 経営計画では油価50USD/bblを前提にROE目標を設定しているが、現在の油価水準(80USD/bbl)が継続した場合のROE水準は、2026年度 10%程度、2030年度 13%程度を想定

ROEの原油価格センシティブリティ



- 
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
  - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取組み
  - III. 2024年3月期 第2四半期決算の概要**
  - IV. 2024年3月期 業績予想の概要

## 決算概要【前年同期比】

単位：百万円	23/3月期 2Q (a)	24/3月期 2Q (a)	増減	
売上高	120,708	<b>150,708</b>	+30,000	+25%
売上総利益	33,980	<b>43,304</b>	+9,323	+27%
営業利益	19,304	<b>28,501</b>	+9,196	+48%
経常利益	43,084	<b>39,135</b>	△ 3,948	△9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,430	<b>27,770</b>	△ 3,659	△12%

## 原油価格・為替

		23/3月期 2Q (a)	24/3月期 2Q (a)	増減
WTI	USD/bbl	101.53	<b>74.94</b>	△26.59
原油CIF(JCC)	USD/bbl	107.25	<b>83.49</b>	△23.76
為替	円/USD	127.44	<b>137.61</b>	+10.17

# E&P事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 2Q (a)		24/3月期 2Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	14,142	-	47,536	-	-	+33,393	+236%

(内訳)

原油	千KL	141	14,101	650	47,259	+508	+359%	+33,157	+235%	
- 国産原油		116	10,495	101	7,662	①	△15	△13%	△2,832	△27%
- 海外原油*1		14	2,651	539	38,844	②	+524	+3,599%	+36,193	+1,365%
- 買入原油		10	955	10	751		△0	△4%	△203	△21%
天然ガス・海外販売*2	百万M3	1	40	25	276	+24	+1,626%	+236	+587%	

## 主な増減要因

- ①販売量の減少および販売価格の下落
- ②イラク・ガラフプロジェクトおよびアメリカ・タイトオイル開発の販売量の増加

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャパックスガラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 2Q (a)		24/3月期 2Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	76,779	-	<b>74,686</b>	-	-	△2,093	△3%

(内訳)

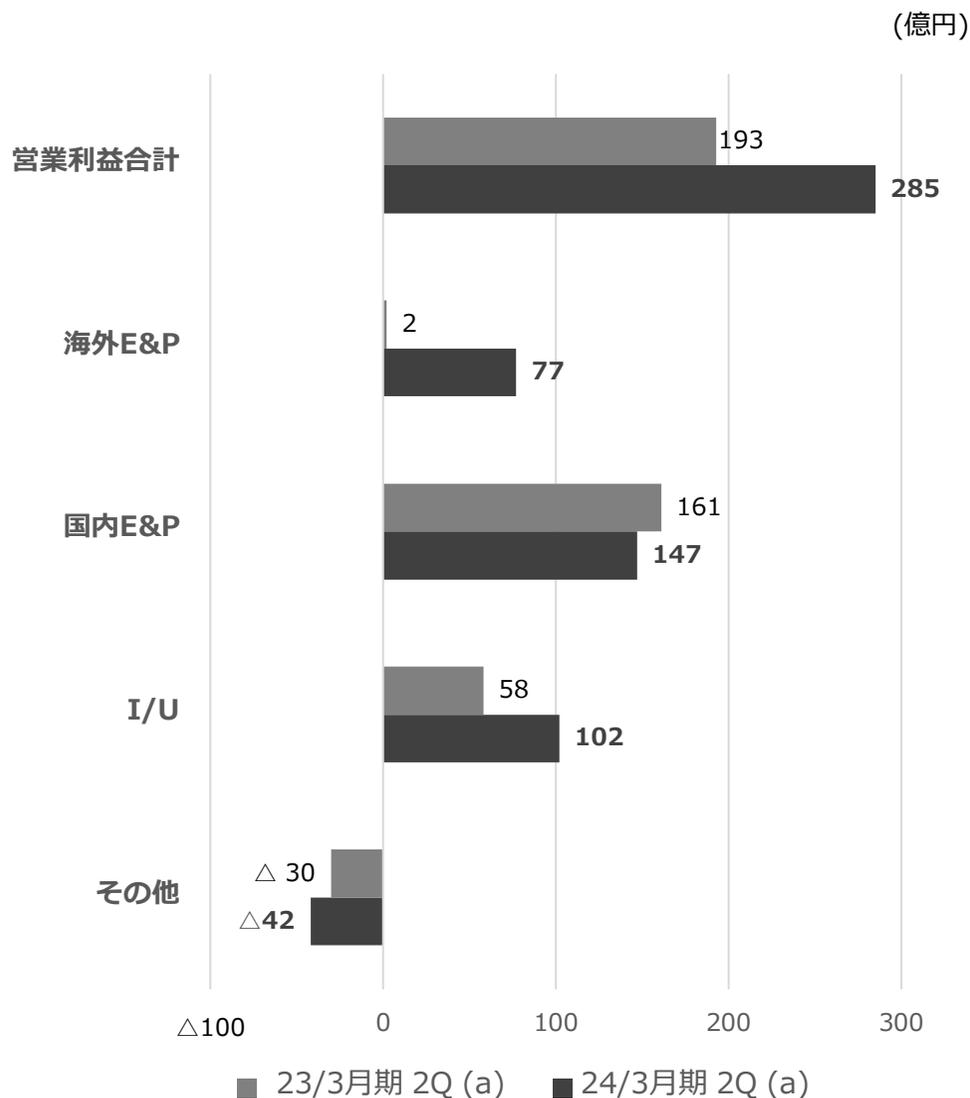
天然ガス・国内販売	百万M3	446	35,966	<b>399</b>	<b>36,389</b>	△46	△10%	+422	+1%
- 国産天然ガス		211	-	<b>193</b>	-	△18	△9%	-	-
液化天然ガス	千トン	94	13,486	<b>61</b>	<b>6,049</b>	① △32	△35%	△7,436	△55%
電力	百万kWh	1,452	25,251	<b>1,946</b>	<b>29,251</b>	② +493	+34%	+3,999	+16%
その他*	-	-	2,074	-	<b>2,996</b>	-	-	+921	+44%

## 主な増減要因

- ①販売量の減少など
- ②販売量の増加

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

# 営業利益概要【前年同期比】



## E&P事業

**(海外) : +74億円 (2億円 → 77億円)**

- ・ アメリカ・タイトオイル開発の販売量増加 (+)
- ・ イラク・ガラフプロジェクトのコスト回収に係る為替差および生産報酬の増加 (+)

**(国内) : △14億円 (161億円 → 147億円)**

- ・ 国産原油販売量減少および販売価格下落 (-)
- ・ 国産天然ガス販売価格\*上昇 (+)

\* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

**+43億円 (58億円 → 102億円)**

- ・ 原料スライドタイムラグ影響など (+)
- ・ LNG調達差益の減少など (-)

## その他※

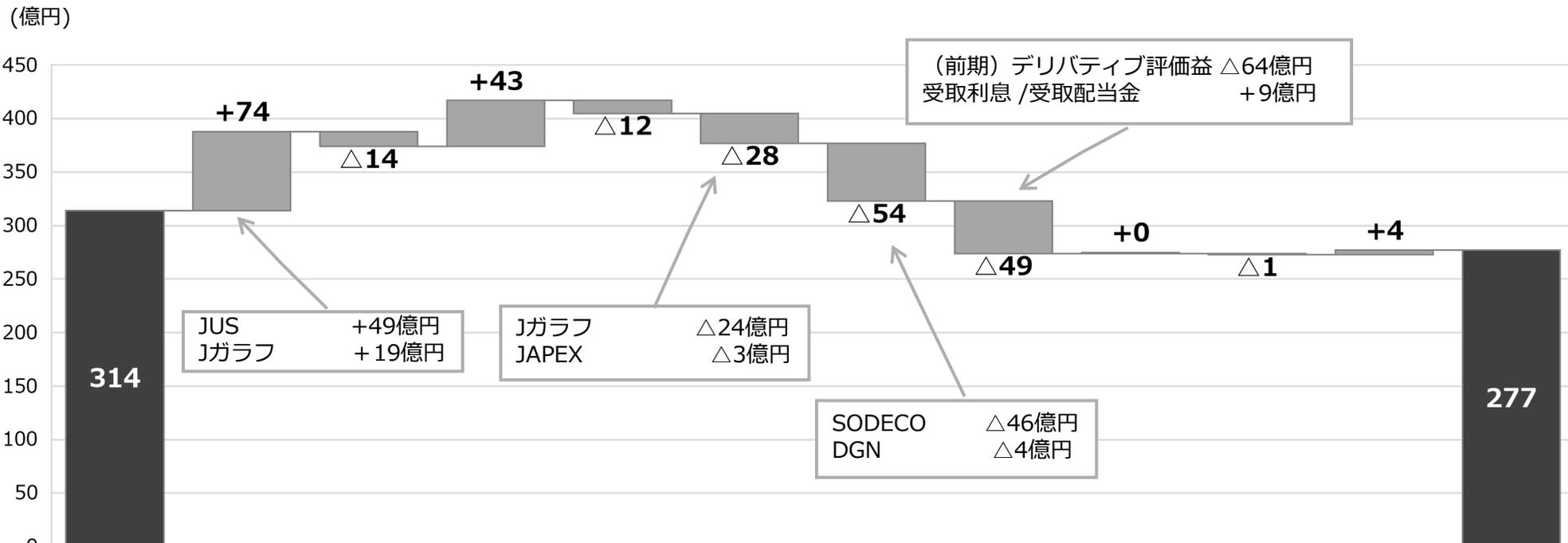
**△12億円 (△30億円 → △42億円)**

- ・ 一般管理費の増加 (-)

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【前年同期比】



純利益	営業利益* +91億円					営業外損益 △131億円					純利益
-----	-------------	--	--	--	--	--------------	--	--	--	--	-----

23/3月期 2Q (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配 株主利益	24/3月期 2Q (a)
23/3月期 2Q (a)	2	161	58	△30	91	66	79	△0	89	26	
24/3月期 2Q (a)	77	147	102	△42	63	12	30	△0	90	22	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

- 
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
  - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取組み
  - III. 2024年3月期 第2四半期決算の概要
  - IV. 2024年3月期 業績予想の概要**

## 業績予想修正【8.9公表予想比】

単位：百万円	前回予想 (f) 8.9公表	今回予想 (f) 11.10公表	増減	
売上高	306,100	<b>325,400</b>	+19,300	+6%
売上総利益	74,200	<b>83,800</b>	+9,600	+13%
営業利益	38,900	<b>48,800</b>	+9,900	+25%
経常利益	44,800	<b>57,000</b>	+12,200	+27%
親会社株主に帰属する当期純利益	34,000	<b>45,000</b>	+11,000	+32%

## 原油価格・為替の前提

		前回予想 (f) 8.9公表	今回予想 (f) 11.10公表	増減
WTI	USD/bbl	75.60	<b>77.46</b>	+1.86
原油CIF(JCC)	USD/bbl	77.45	<b>84.35</b>	+6.90
為替	円/USD	131.16	<b>139.51</b>	+8.35

## E&amp;P事業 販売予想修正【8.9公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 8.9公表		今回予想 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	93,514	-	94,172	-	-	+658	+1%

(内訳)

原油	千KL	1,591	91,549	1,331	93,411	△259	△16%	+1,862	+2%
- 国産原油		206	13,255	219	16,479	+12	+6%	① +3,224	+24%
- 海外原油* <sup>1</sup>		1,367	77,110	1,092	75,445	② △274	△20%	△1,665	△2%
- 買入原油		17	1,183	19	1,487	+1	+11%	+303	+26%
天然ガス・海外販売* <sup>2</sup>	百万M3	86	1,965	60	761	③ △26	△31%	△1,204	△61%

## 主な増減要因

- ① 販売価格の上昇
- ② 英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始時期の遅れに伴う販売量の剥落 / イラク・ガラフプロジェクトの引取カーゴの減少
- ③ 英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始時期の遅れに伴う販売量の剥落

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャペックスガラフおよびJapex (U.S.) Corp.の数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp.の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【8.9公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 8.9公表		今回予想 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	150,567	-	<b>168,005</b>	-	-	+17,437	+12%

(内訳)

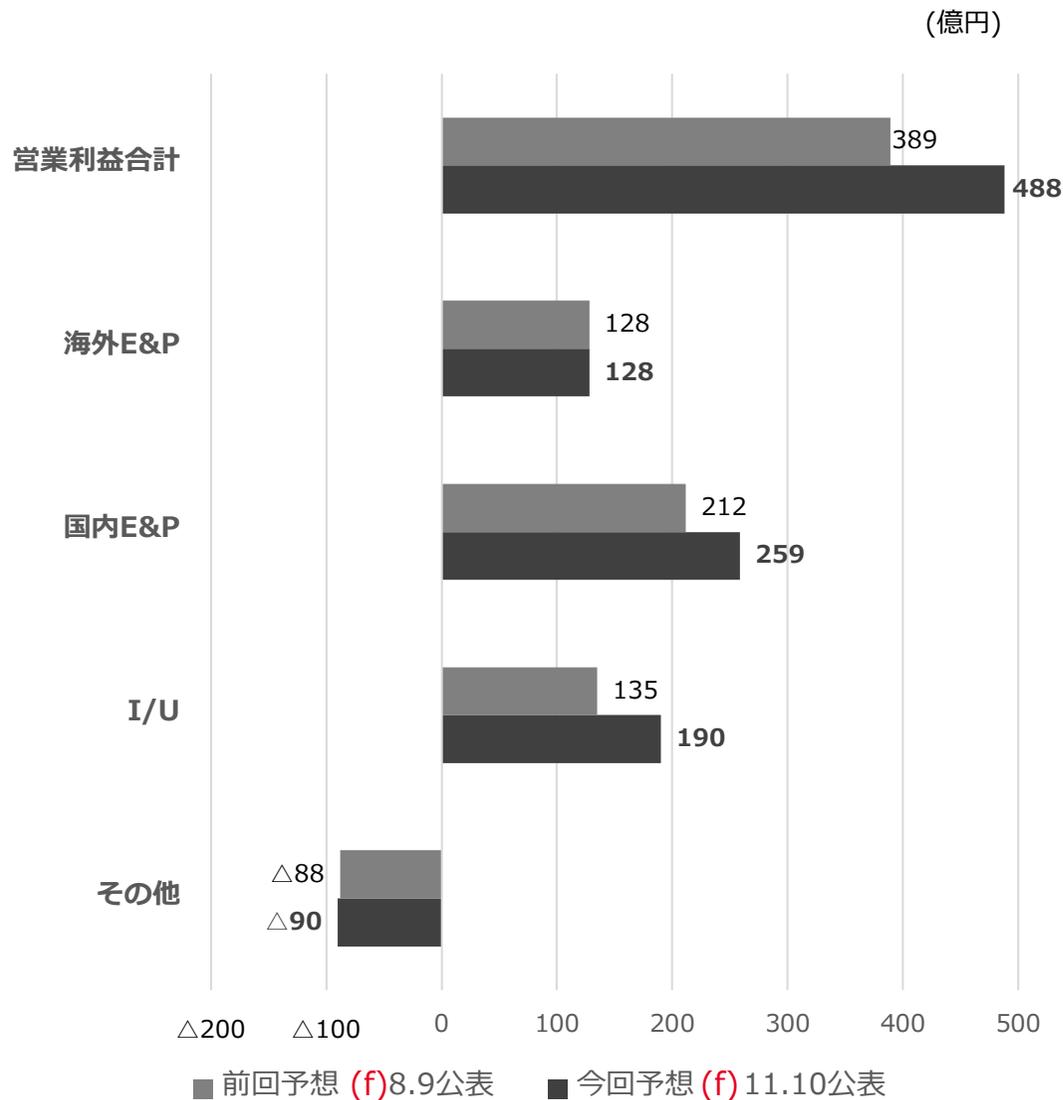
天然ガス・国内販売	百万M3	976	78,775	<b>961</b>	<b>80,950</b>	△15	△2%	+2,174	+3%
- 国産天然ガス		459	-	<b>448</b>	-	△10	△2%	-	-
液化天然ガス	千トン	218	19,291	<b>279</b>	<b>28,617</b>	① +61	+28%	+9,325	+48%
電力	百万kWh	3,137	46,126	<b>3,468</b>	<b>52,160</b>	② +331	+11%	+6,033	+13%
その他*	-	-	6,373	-	<b>6,277</b>	-	-	△96	△2%

## 主な増減要因

①-② 販売量の増加および販売価格の上昇

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

# 営業利益概要【8.9公表予想比】



## E&P事業

**(海外) : △0億円 (128億円 → 128億円)**

- ・ 英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始時期の遅れに伴う販売量剥落 (-)
- ・ イラク・ガラフプロジェクトのコスト回収に係る為替差および生産報酬の増加 (+)

**(国内) : +46億円 (212億円 → 259億円)**

- ・ 国産原油販売価格上昇 (+)
- ・ 国産天然ガス販売価格\*上昇 (+)

\* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

**+54億円 (135億円 → 190億円)**

- ・ 余剰LNGカーゴの転売 (+)
- ・ LNG調達差益の増加など (+)

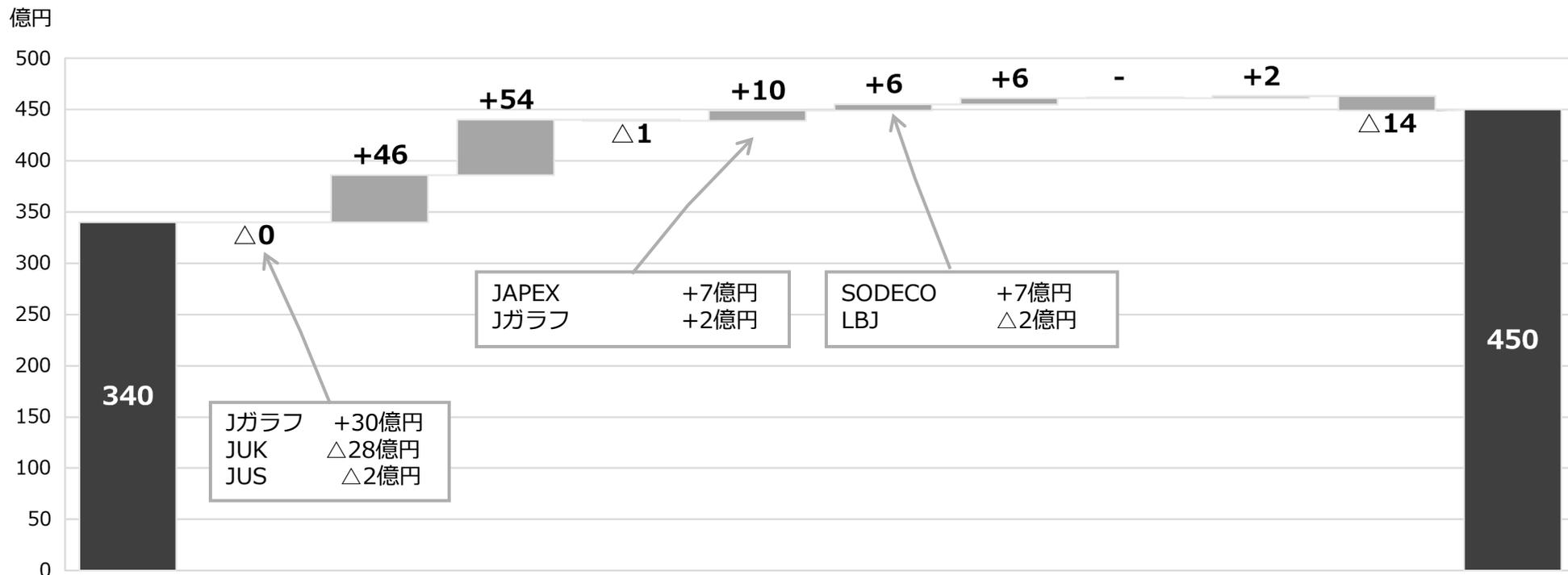
## その他※

**△1億円 (△88億円 → △90億円)**

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【8.9公表予想比】



純利益	営業利益* +99億円					営業外損益 +23億円					純利益
前回予想(f) 8.9公表	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税 等	非支配 株主利益	今回予想(f) 11.10公表
前回予想(f) 8.9公表	128	212	135	△88	20	3	36	△1	98	9	
今回予想(f) 11.10公表	128	259	190	△90	30	9	43	△1	96	23	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

## 業績予想【前期比】

単位：百万円	23/3月期 (a)	24/3月期 (f) 11.10公表	増減	
売上高	336,492	<b>325,400</b>	△ 11,092	△3%
売上総利益	96,111	<b>83,800</b>	△ 12,311	△13%
営業利益	62,085	<b>48,800</b>	△ 13,285	△21%
経常利益	83,130	<b>57,000</b>	△ 26,130	△31%
親会社株主に帰属する当期純利益	67,394	<b>45,000</b>	△ 22,394	△33%

## 原油価格・為替の前提

		23/3月期 (a)	24/3月期 (f) 11.10公表	増減
WTI	USD/bbl	94.42	<b>77.46</b>	△16.96
原油CIF(JCC)	USD/bbl	102.26	<b>84.35</b>	△17.91
為替	円/USD	132.86	<b>139.51</b>	+6.65

## E&amp;P事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 (a)		24/3月期 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	56,063	-	94,172	-	-	+38,109	+68%

(内訳)

原油	千KL	695	55,703	1,331	93,411	+636	+91%	+37,708	+68%
- 国産原油		238	20,760	219	16,479	① △19	△8%	△4,280	△21%
- 海外原油* <sup>1</sup>		436	33,084	1,092	75,445	② +656	+150%	+42,360	+128%
- 買入原油		20	1,858	19	1,487	△1	△6%	△370	△20%
天然ガス・海外販売* <sup>2</sup>	百万M3	11	360	60	761	③ +48	+424%	+400	+111%

## 主な増減要因

- ①販売量の減少および販売価格の下落
- ②アメリカ・タイトオイル開発およびイラク・ガラフプロジェクトの販売量の増加
- ③アメリカ・タイトオイル開発の販売量の増加

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 (a)		24/3月期 (f) 11.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	213,657	-	168,005	-	-	△45,652	△21%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	989	97,360	961	80,950	△27	△3%	① △16,410	△17%
- 国産天然ガス		461	-	448	-	△12	△3%	-	-
液化天然ガス	千トン	340	51,572	279	28,617	② △60	△18%	△22,955	△45%
電力	百万kWh	3,005	58,735	3,468	52,160	+462	+15%	③ △6,575	△11%
その他*	-	-	5,988	-	6,277	-	-	+288	+5%

## 主な増減要因

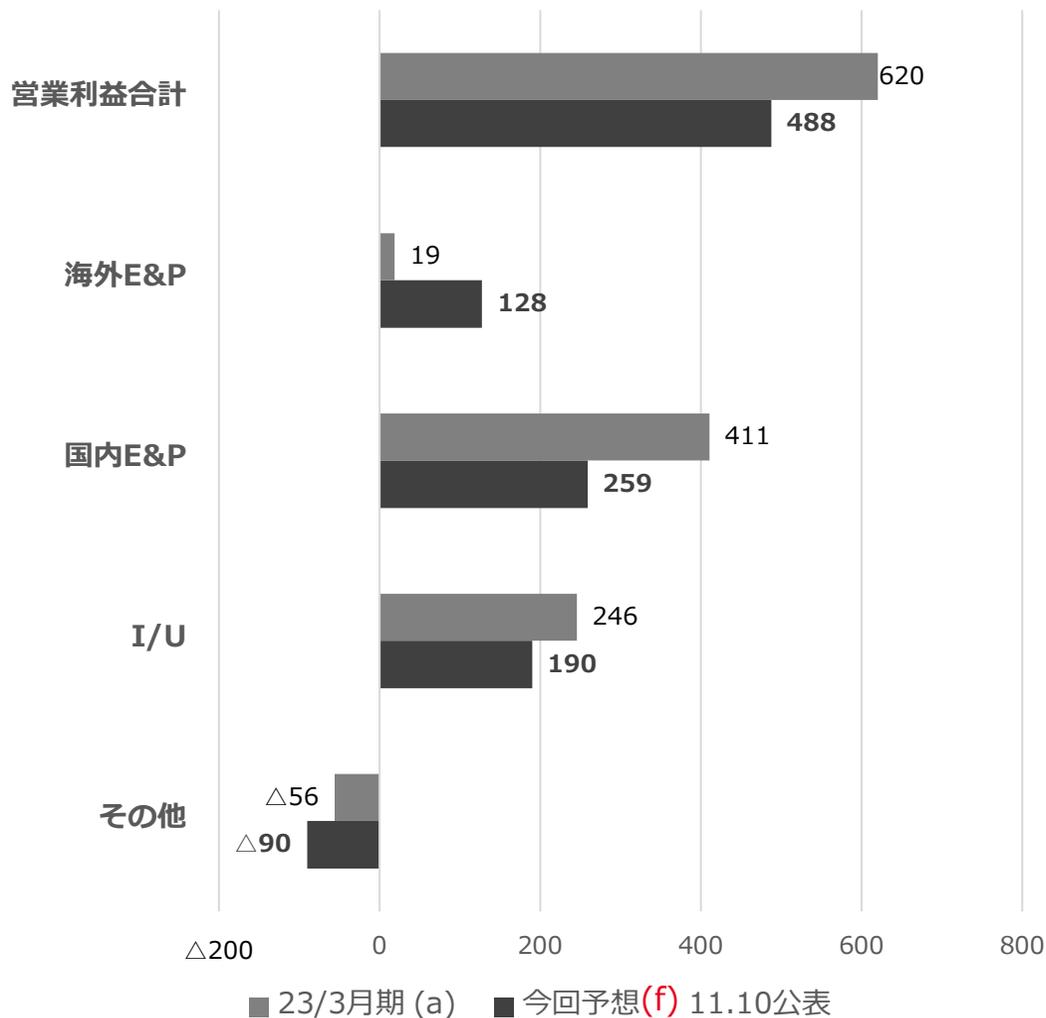
①-②国内ガスおよびLNG販売価格の下落、LNG販売量の減少

③販売価格の下落

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

## 業績予想 営業利益概要【前期比】

(億円)



注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

## E&amp;P事業

**(海外) : +108億円 (19億円 → 128億円)**

- ・ アメリカ・タイトオイル開発の販売量増加 (+)
- ・ Jガラフにおける一過性費用の剥落 (+)

**(国内) : △152億円 (411億円 → 259億円)**

- ・ 国産原油販売量減少および販売価格下落 (-)
- ・ 国産天然ガス販売量減少および販売価格\*下落 (-)

\* 当社内部管理上のE&amp;P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

**△55億円 (246億円 → 190億円)**

- ・ LNG調達差益の減少など (-)

## その他※

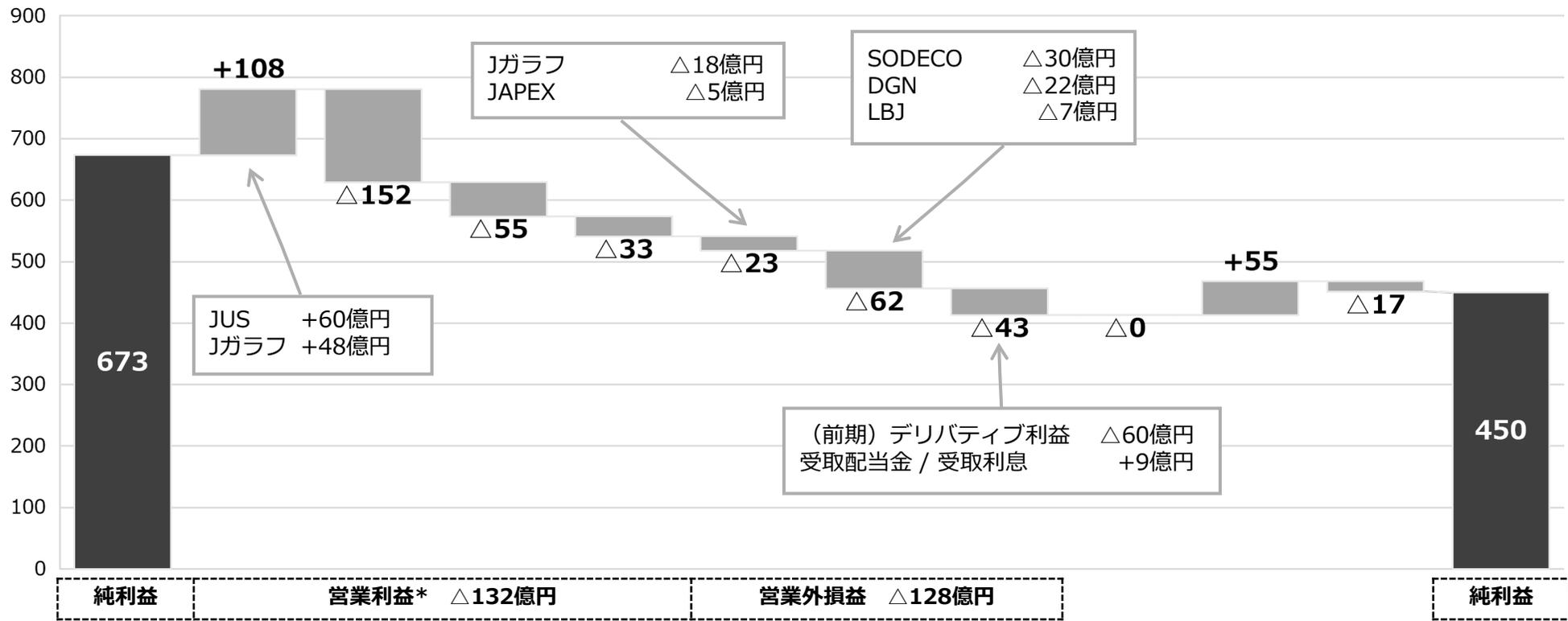
**△33億円 (△56億円 → △90億円)**

- ・ 一般管理費 (人件費、デジタル関連支出) の増加 (-)
- ・ 子会社における請負事業の減益 (-)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

# 純利益増減分析【前期比】

億円



23年3月期 (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	今回予想 (f) 11.10公表
23年3月期 (a)	19	411	246	△56	53	71	86	△0	151	5	
今回予想 (f) 11.10公表	128	259	190	△90	30	9	43	△1	96	23	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# バランスシートの状況

単位：百万円	23/3月期 (a)	24/3月期 2Q (a)	増減
<b>流動資産</b>	<b>281,791</b>	<b>261,075</b>	<b>△20,716</b>
<b>固定資産</b>	<b>286,388</b>	<b>358,694</b>	<b>+72,305</b>
有形固定資産	118,411	143,032	+24,620
投資有価証券	115,940	167,981	+52,040
生産物回収勘定	23,455	16,355	△7,099
その他	28,580	31,324	+2,743
<b>資産合計</b>	<b>568,180</b>	<b>619,769</b>	<b>+51,589</b>
<b>流動負債</b>	<b>64,250</b>	<b>42,259</b>	<b>△21,990</b>
<b>固定負債</b>	<b>46,759</b>	<b>61,706</b>	<b>+14,946</b>
<b>純資産</b>	<b>457,169</b>	<b>515,803</b>	<b>+58,633</b>
内、その他有価証券評価差額金	46,324	80,147	+33,822
内、非支配株主持分	31,536	33,612	+2,076
<b>負債純資産合計</b>	<b>568,180</b>	<b>619,769</b>	<b>+51,589</b>

米国タイトオイル開発、英領北海シーガルプロジェクト等への投資

投資有価証券の時価上昇  
ノルウェー事業への資本参加等

四半期純利益の計上 (+)  
有価証券評価差額金の増加 (+)  
為替換算調整勘定の増加 (+)  
配当金の支払による減少 (-)

# キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	23/3月期 (a)	24/3月期 (a)	23/3月期 (a)	24/3月期 (f)	
	2Q (累計)	2Q (累計)	通期	通期	
				8.9公表	11.10公表
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>42,806</b>	<b>44,973</b>	<b>104,581</b>	<b>84,655</b>	<b>88,635</b>
税金等調整前当期純利益	43,068	39,121	83,084	44,700	56,900
減価償却費	5,497	11,979	14,257	26,587	24,491
生産物回収勘定の回収	-	18,888	18,295	41,581	39,736
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△22,080</b>	<b>△33,767</b>	<b>△52,723</b>	<b>△116,539</b>	<b>△ 115,444</b>
有形固定資産の取得による支出	△14,735	△31,984	△35,973	△84,136	△85,385
生産物回収勘定の支出	△13,657	△11,917	△27,729	△33,538	△ 32,413
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,985</b>	<b>△12,322</b>	<b>△14,506</b>	<b>△19,145</b>	<b>△ 30,392</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>168,384</b>	<b>190,129</b>	<b>186,166</b>	<b>135,137</b>	<b>128,965</b>

有利子負債*1	-	-	10,413	10,149	10,149
EBITDA*2	-	-	85,316	74,177	83,241
EBITDA有利子負債倍率（倍）	-	-	0.1	0.1	0.1

\*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務の合計額

\*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

## 参考資料

---

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2024年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
6. 事業拠点および主要事業紹介
7. 統合報告書およびIR関連資料
8. 用語集

## 1. 売上高内訳：①E&amp;P事業

金額：百万円	23/3月期 (a)				24/3月期				
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期(f)	
								8.9公表	11.10公表
売上高	7,266	6,876	14,142	56,063	10,724	36,811	47,536	93,514	94,172
原油販売量 (千KL)	79	62	141	695	152	497	650	1,591	1,331
原油売上高	7,251	6,850	14,101	55,703	10,608	36,650	47,259	91,549	93,411
国産原油販売量 (千KL)	67	49	116	238	50	50	101	206	219
国産原油売上高	5,640	4,855	10,495	20,760	3,700	3,962	7,662	13,255	16,479
海外原油販売量 (千KL) *1	7	7	14	436	97	441	539	1,367	1,092
海外原油売上高	1,192	1,458	2,651	33,084	6,532	32,312	38,844	77,110	75,445
買入原油販売量 (千KL)	5	5	10	20	5	5	10	17	19
買入原油売上高	418	536	955	1,858	375	375	751	1,183	1,487
天然ガス海外販売量 (百万M3) *2	0	0	1	11	10	15	25	86	60
天然ガス海外売上高	14	25	40	360	116	160	276	1,965	761

WTI (USD/bbl)	94.41	108.65	101.53	94.42	76.11	73.78	74.94	75.60	77.46
原油CIF (USD/bbl) *3	101.55	115.31	107.25	102.26	85.17	81.77	83.49	77.45	84.35

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャペックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値

\*3 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価

# 1. 売上高内訳：②インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

金額：百万円	23/3月期 (a)				24/3月期				
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期(f)	
								8.9公表	11.10公表
売上高	36,009	40,770	76,779	213,657	36,398	38,288	74,686	150,567	168,005
天然ガス国内販売量 (百万M3)	231	214	446	989	202	197	399	976	961
天然ガス国内売上高	17,923	18,043	35,966	97,360	20,200	16,189	36,389	78,775	80,950
国産天然ガス販売量 (百万M3)	109	101	211	461	102	90	193	459	448
液化天然ガス販売量 (千トン)	49	44	94	340	30	30	61	218	279
液化天然ガス売上高	6,062	7,424	13,486	51,572	1,498	4,551	6,049	19,291	28,617
電力販売量 (百万kWh)	665	787	1,452	3,005	774	1,171	1,946	3,137	3,468
電力売上高	10,986	14,265	25,251	58,735	13,137	16,113	29,251	46,126	52,160
その他*	1,037	1,037	2,074	5,988	1,561	1,434	2,996	6,373	6,277
LNG(全日本CIF) (円/トン)	101,863	143,821	122,842	126,286	89,887	89,115	89,501	80,422	89,909

\* 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

## 2. 損益の状況

	単位：百万円		23/3月期 (a)				24/3月期			
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期 (f)		
								8.9公表	11.10公表	
売上高	58,617	62,091	120,708	336,492	61,321	89,387	150,708	306,100	325,400	
E&P事業	7,266	6,876	14,142	56,063	10,724	36,811	47,536	93,514	94,172	
インフラ・ユーティリティ事業	36,009	40,770	76,779	213,657	36,398	38,288	74,686	150,567	168,005	
その他	15,341	14,444	29,786	66,771	14,199	14,286	28,486	62,018	63,221	
売上原価	41,920	44,807	86,727	240,380	40,812	66,591	107,404	231,900	241,600	
売上総利益	16,696	17,283	33,980	96,111	20,508	22,795	43,304	74,200	83,800	
探鉱費	97	1,042	1,140	2,885	255	726	982	4,800	4,700	
販管費	6,788	6,746	13,535	31,139	7,349	6,470	13,820	30,500	30,300	
営業利益	9,810	9,494	19,304	62,085	12,903	15,597	28,501	38,900	48,800	
営業外損益	12,789	10,989	23,779	21,044	5,315	5,318	10,634	5,900	8,200	
受取利息	149	257	406	1,173	520	464	985	900	1,400	
支払利息	△ 1	△ 1	△ 2	△ 5	△ 24	△ 34	△ 58	△ 1,100	△ 1,000	
受取配当	47	1,603	1,651	3,520	57	1,977	2,035	3,600	4,200	
持分損益	5,988	696	6,684	7,109	338	932	1,270	300	900	
海投損繰入・戻入	-	0	0	△ 44	△ 15	0	△ 15	△ 100	△ 100	
為替差損益	6,748	2,428	9,176	5,332	4,764	1,587	6,352	2,000	3,000	
その他	△ 142	6,004	5,861	3,958	△ 325	390	64	300	△ 200	
経常利益	22,600	20,483	43,084	83,130	18,219	20,916	39,135	44,800	57,000	
特別損益	△ 1	△ 14	△ 15	△ 46	△ 9	△ 3	△ 13	△ 100	△ 100	
税金等調整前当期純利益	22,598	20,469	43,068	83,084	18,209	20,912	39,121	44,700	56,900	
法人税等	5,304	3,665	8,970	15,102	4,335	4,757	9,092	9,800	9,600	
非支配株主に帰属する当期純利益	1,653	1,013	2,667	587	874	1,384	2,258	900	2,300	
親会社株主に帰属する当期純利益	15,640	15,790	31,430	67,394	12,999	14,770	27,770	34,000	45,000	

## 3. セグメント損益

単位：百万円		23/3月期 (a)				24/3月期				
		1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期(f)	
									8.9公表	11.10公表
日本	営業利益	11,472	11,215	22,688	68,855	13,732	12,608	26,341	38,157	48,164
	持分法投資利益	291	24	315	326	136	50	187	291	276
北米	営業利益	227	320	548	4,210	1,952	3,536	5,488	10,543	10,253
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	営業利益	△ 33	△ 55	△ 88	△ 170	△ 111	△ 137	△ 248	1,823	△ 984
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	△ 497	△ 728
中東	営業利益	522	611	1,134	△ 112	447	2,672	3,119	1,741	4,773
	持分法投資利益	△ 3	△ 3	△ 6	△ 11	△ 1	△ 3	△ 4	△ 5	△ 4
その他 <sup>*1</sup>	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	5,699	675	6,375	6,793	202	884	1,087	510	1,354
調整額 <sup>*2</sup>		△ 2,378	△ 2,598	△ 4,977	△ 10,697	△ 3,118	△ 3,082	△ 6,200	△ 13,366	△ 13,406
連結損益算書計上額 <sup>*3</sup> 営業利益		9,810	9,494	19,304	62,085	12,903	15,597	28,501	38,900	48,800

\*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

\*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

\*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

## 4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			(上段) 2022年1月～2023年3月					通期
			(下段) 2023年1月～2024年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
原油CIF (JCC)*1	USD/bbl	前期実績	-	101.55	115.31	105.93	89.98	102.26
		前回予想	-	85.17	75.00	75.00	75.00	77.45
		当期実績・前提	-	<b>85.17</b> *2	<b>81.77</b> *2	<b>85.00</b>	<b>85.00</b>	<b>84.35</b>
WTI	USD/bbl	前期実績	94.41	108.65	91.76	82.85	-	94.42
		前回予想	76.11	76.27	75.00	75.00	-	75.60
		当期実績・前提	<b>76.11</b> *2	<b>73.78</b> *2	<b>80.00</b>	<b>80.00</b>	-	<b>77.46</b>
LNG (全日本CIF)	円/ト	前期実績	-	101,863	143,821	142,404	117,057	126,286
		前回予想	-	88,287	81,400	76,200	75,800	80,422
		当期実績・前提	-	<b>89,887</b> *2	<b>89,115</b>	<b>89,400</b>	<b>91,233</b>	<b>89,909</b>
為替*1	円/USD	前期実績	-	122.50	133.58	143.32	133.39	132.86
		前回予想	-	134.36	130.00	130.00	130.00	131.16
		当期実績・前提	-	<b>134.36</b> *2	<b>141.06</b> *2	<b>140.00</b>	<b>140.00</b>	<b>139.51</b>

\*1 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価

\*2 実績値

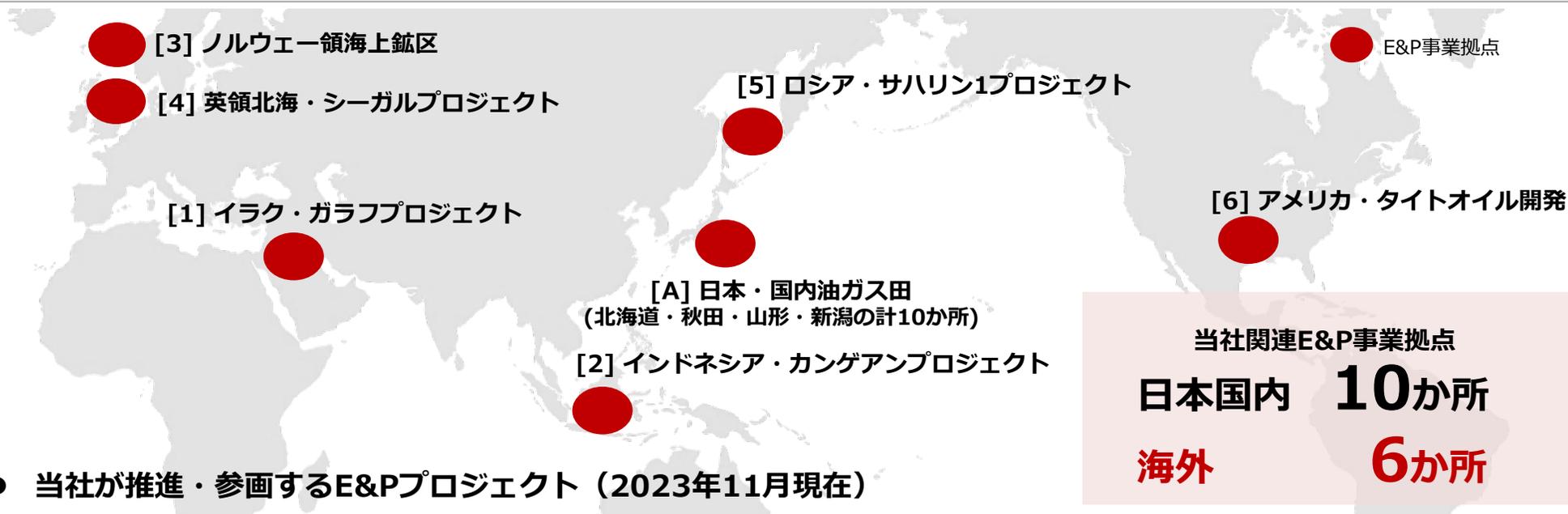
## 5. 24年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	24/3月期 3Q-4Q 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	<b>WTI 3Q-4Q:USD 80.00/bbl 原油CIF価格 3Q-4Q:USD 85.00/bbl</b>	USD 1 /bbl の価格上昇	<b>70</b>	<b>50</b>	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	<b>140.00円/USD</b>	1 円/USD の円安	<b>280</b>	<b>170</b>	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

### 【前提】

- ・持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生  
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

## 6. 事業拠点および主要事業概況① E&P分野



● 当社が推進・参画するE&Pプロジェクト（2023年11月現在）

No.	油ガス田/プロジェクト名（オペレーター）	権益比率（当社Net）	生産種別	状況	生産量日量*1
A	日本・国内油ガス田（北海道・秋田・山形・新潟の10か所で当社が操業）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示
1	イラク・ガラフプロジェクト（PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.）	30%（16.5%）	原油	生産・開発中	15.5万bbl
2	インドネシア・カンゲアンプロジェクト（Kangean Energy Indonesia Ltd.）	100%（25%）	原油・天然ガス	生産中	249万m <sup>3</sup> （15,138boe）
3	ノルウェー領海上鉱区（Longboat JAPEX Norge AS <sup>*2</sup> ）	権益により異なる	-	探鉱・開発中	—
4	英領北海・シーガルプロジェクト（Neptune E&P UK Limited）	15%（15%）	原油・天然ガス	生産・開発中	—
5	ロシア・サハリン1プロジェクト（Sakhalin-1 Limited Liability Company: S1LLC）	30%（4.59%） <sup>*3</sup>	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示
6	アメリカ・タイトオイル開発（EOG Resources Inc.ほか）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示

\*1: 2023年度2Q累計（No.2,3,4：2023年1月～6月、No.1：2023年4月～9月）の日量生産量平均。\*2: 2023年7月の資本参加（当社出資比率49.9%）完了に伴い社名変更 \*3: 2022年11月のロシア政府令によりサハリン石油ガス開発株式会社（SODECO）のS1LLC持分30%引受承認。



## 6. 主要事業概況③ I/U分野 – 電力

拠点合計 **8**か所      出力合計 **1,389,800kW**  
 うち再エネ **7**か所      うち再エネ **209,800kW**

\*出力合計値はGross

### ● 当社が開発・運営に参画する発電所（2023年11月現在）

No.	名称	所在地	種別	出力合計 (kW)	当社比率	状況
A	福島天然ガス発電所	福島県相馬郡新地町	ガス (LNG)	118万	33%	稼働中
1	網走バイオマス発電所2号機・3号機	北海道網走市	バイオマス (木質チップ)	1.98万	33.8%	稼働中
2	JAPEX北海道事業所メガソーラー	北海道苫小牧市	太陽光	0.18万	100%	稼働中
3	勇払太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	20%	稼働中
4	見附太陽光発電所	新潟県見附市	太陽光	0.025万	100%	稼働中
5	田原バイオマス発電所	愛知県田原市	バイオマス (木質ペレット)	5万	39.9%	建設中
6	大洲バイオマス発電所	愛媛県大洲市	バイオマス (木質ペレット)	5万	35%	建設中
7	長府バイオマス発電所	山口県下関市	バイオマス (木質ペレット)	7.495万	39.9%	建設中

### ● その他再エネ関連への参画

- ▶ PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合 (非FITを含む太陽光発電プロジェクトを対象に最大100億円を投資するファンドへの参画、当社出資比率50%)

[1] 網走バイオマス発電所 **BIO**  
2号機・3号機

[2] JAPEX北海道事業所  
メガソーラー **PV**

[3] 勇払太陽光発電所 **PV**



**LNG** [A] 福島天然ガス発電所

[4] 見附太陽光発電所 **PV**



[5] 田原バイオマス発電所 **BIO**

[7] 長府バイオマス発電所 **BIO**

[6] 大洲バイオマス発電所 **BIO**

**●** ガス発電所

**■** 再エネ発電所

**■** 再エネ発電所 (建設中)

## 6. 主要事業概況④ CN分野

### ● 当社が推進・参加する主なCCS/CCUS関連の取り組み

#### 国内 2030年度までにハブ&クラスター型モデル事業確立

##### ▶ 当社における検討

- ✓ 当社油ガス田などのCO<sub>2</sub>貯留可能量調査
- ✓ 当社油ガス田操業における随伴CO<sub>2</sub>の再圧入検討

##### ▶ 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討

- ✓ 新潟エリアにおけるCO<sub>2</sub>を有効活用した事業の可能性を、三菱ガス化学と検討（2021年5月～）
- ✓ 北海道・苫小牧エリアにおけるCCUS事業実現可能性検討を出光興産・北海道電力と共同実施（2023年1月～）
- ✓ JOGMEC「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募にて苫小牧エリアにおけるCCS実現可能性調査を、出光興産・北海道電力と受託（2023年7月）
- ✓ JOGMEC「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募にて東新潟エリアにおけるCCS実現可能性調査を、三菱ガス化学、東北電力、北越コーポレーション、野村総合研究所と受託（2023年8月）

#### 海外 制度先進国案件での早期収益貢献&新興国検討案件

##### ▶ 当社における検討

- ✓ 北米やヨーロッパなどの制度先進国における、CCS/CCUS案件への参画検討

##### ▶ 企業間・業種横断的案件実現可能性検討

- ✓ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討（プルタミナグループ・レミガスとの共同実施）（2021年6月～）
- ✓ インドネシア・スコワティ油田におけるCO<sub>2</sub>圧入試験実施に向けた共同スタディ契約を、JOGMEC・プルタミナグループと締結（2023年6月）
- ✓ マレーシアにおけるCCS共同スタディ：CO<sub>2</sub>地中貯留の実施を視野にした適地調査や技術的な検討などをペトロナス、日揮グローバル(株)、川崎汽船(株)との共同実施（2022年1月～）
- ✓ 上記マレーシアにおけるCCS共同スタディと連携した日本起点のCCSバリューチェーン構築共同検討実施にJFEスチールと合意（2023年6月）
- ✓ SKK Migasとインドネシアにおけるハブ&クラスター型CCS/CCUS実現に向けた協力に係る覚書を締結（2023年9月）
- ✓ 当社初の海外制度先進国におけるCCS事業検討案件へ参入するため米BSO社への資本参加（2023年10月）

#### 共通

##### ▶ 技術その他関連検討

- ✓ CN社会実現に向けたエネルギー輸送・供給インフラの技術課題検討（JFEエンジニアリング(株)との共同検討）

## 7. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内

当社の統合報告書およびIR関連資料は、当社ウェブサイトの以下のリンクからご覧いただけます。

### 統合報告書

#### ◆ 統合報告書



<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

最新号（統合報告書2023、2023年9月発行）は、  
以下のリンクから直接ご覧いただけます

[https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX\\_IR2023\\_j.pdf](https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX_IR2023_j.pdf)

### 開示資料アーカイブ

- ◆ 決算短信
- ◆ 決算説明資料
- ◆ 有価証券報告書・四半期報告書

<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>

### 業績情報など

- ◆ 業績ハイライト（過去5期分）  
※過去10年分CSVデータダウンロード
- ◆ 株主還元（配当の推移）

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/pl/>

[https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX\\_10yearFinancialData\\_j.xlsx](https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx)

<https://www.japex.co.jp/ir/stock/dividend/>

## 8. 用語集

### ■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル（日量）
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
CN	Carbon neutral	カーボンニュートラル
E&P	Exploration and Production	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産
I/U	Infrastructure & Utility	インフラ・ユーティリティ
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

### ■ 主要な子会社・持分法適用会社

Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
LBJ	Longboat JAPEX Norge AS	ノルウェー領海上鉱区
FGP	福島ガス発電（株）	天然ガス火力発電事業

## 注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。  
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています。
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111

**JAPEX**

石油資源開発株式会社